



## 2024流山憲法集会

### 5月11日(土)

開場：13:30 開会：14:00



あきら

講師 **川崎 哲**さん

「戦争はごめんだ！平和な世界の作り方」

会場：流山市生涯学習センター

つくばエクスプレス セントラルパーク下車5分

資料代 500円 学生無料

ピースボート共同代表。2017年にノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」の国際運営委員兼会長。核兵器廃絶日本NGO連絡会の共同代表として、NGO間の連携および政府との対話促進に尽力してきた。

## 動き出す国家機密保護 人権抑圧の危険 経済秘密保護法

2013年12月 特定秘密保護法（特定秘密の保護に関する法律）の制定が強行され、翌年施行されました。この法は「漏えいすると国の安全保障に著しい支障を与えるとされる情報を『特定秘密』に指定し、それを取り扱う人を調査・管理し、その秘密を外部に知らせたり、外部から知ろうとしたりする人などを処罰することによって、「特定秘密」を守ろうとするものです。主に公務員の秘密漏洩を防ぐとされました。しかしその情報を探り報道しようとすることも罰せられることになり、国民の知る権利も失われると強い反対がある中での強行でした。

現在審議中の「経済秘密保護法」はこれを民間人にも大幅に拡大してセキュリティクリアランス（\*注）を適用して監視しようとするものです。

ところが対象となる秘密とする情報が何か、が限定されないまま、こうした個人情報収集されるのは、個人のプライバシー侵害につながり、これらを明らかにしないとその仕事から排除されることとなります。いったん申告したとしても事情は常に変化しますから、身辺は常時監視されることに繋がります。

何が秘密かわからないまま、秘密を扱うからとセキュリティクリアランスとして民間人が身元調査され、政治思想や病歴、借金、飲酒など個人情報が収集され、勝手に違反として逮捕され、投獄されるようになれば、かつての特攻に監視されるような社会になり、秘密指定が拡大すれば、マスコミの報道や学問の自由も監視され、国民の知る権利が失われることになりかねません。

オスプレイの木更津での整備、イギリス、イタリアと共同で戦闘機を開発し輸出までしようという。国民の権利より軍事産業保護が優先するのを許してはなりません。

### <セキュリティ・クリアランス（適性評価）とは>

政府が指定した安全保障上重要な情報に接する必要がある公務員や民間事業者らに対して、政府が調査を実施し、信頼性を確認した上で情報を提供する制度。本人の同意を得た上で、国の行政機関が（1）家族や同居人の生年月日や国籍（2）犯罪歴（3）薬物乱用（4）精神疾患（5）飲酒の節度（6）経済状態などを調査する。特定秘密保護法で導入された。22年末時点で評価保有者は13万人。大半は国家公務員で、民間人は防衛産業を中心に3%。<東京新聞>

## オスプレイ飛行再開

### 墜落原因不明のまま

事故多発で各国でその機体の安全性に懸念が持たれているオスプレイは本紙1月号で既報の通り、世界中の同機の飛行を停止調査をしていましたが、飛行再開を決定し、沖縄駐留の部隊から訓練を再開しています。しかし原因の調査結果は発表されていません。



昨年11月に屋久島沖で墜落し8名の自衛隊幹部が失われました。しかし政府は抗議もせず、国内で起こった事故

で国内の自衛隊員が犠牲になったにもかかわらず、機体の検証への参加、原因究明も要求していません。その上に原因調査の結果も不明なまま飛行再開に同意し在日米軍ばかりか自衛隊所属機の飛行も始めました。沖縄では3月14日から。千葉県の木更津基地では21日から。

オスプレイを配備を受け入れているのは日本だけです。大型の輸送能力があるといいますが、その機体の特性から言っても能登の地震津波などの災害には役に立ちません。

市街地上空も無様に飛んでいる現状で、墜落事故が起これば大惨事です。アメリカ言いなりに一機100億円で17機も買い入れ、危険な機体が飛び交う日本の安全保障とはいったい何でしょうか？

# 沖縄県内での反発受け うるま市への陸自訓練場計画断念？

沖縄の自衛隊基地増強が進んでいます。南西諸島の陸上自衛隊の地対艦ミサイル部隊を束ねる連隊本部が21日、うるま市の勝連分屯地で発足しました。

陸上自衛隊は、石垣島、宮古島、鹿児島島の奄美大島に地上から海上の艦艇を攻撃する地対艦ミサイルを配備を進め、3月に入って、うるま市の勝連分屯地にも発射機が運び込まれました。

陸幕長は「これによって、南西地域の侵攻への抑止力を高める」と述べ沖縄本島から各部隊を指揮する意義を強調しました。

ミサイル配備から命を守るうるま市民の会・照屋寛之共同代表は「与那国、石垣を見てわかるように、一旦受け入れてしまった自衛隊基地、ミサイルがさらにどのように強化されるか。戦いを緩めるわけにはいかない」と話しています。

そのうるま市ではこの勝連分屯地に加えてさらに住宅地付近のゴルフ場跡地に自衛隊基地を新設する計画が地元の合意もなく進められ、地元の反対で計画断念の方向が伝えられています。アメリカ言いなりに沖縄の基地増強を図る政府の前のめりの姿勢が明らかです。

沖縄県うるま市石川のゴルフ場跡地に陸上自衛隊訓練場を新設する計画を巡り、防衛省が用地取得を含め、現行計画を断念する方向で検討に入った。

計画を巡っては県内で強い反発があり、自民党県連の島袋大幹事長と島尻安伊子衆院議員は同日、木原稔防衛相と面会し要請した。

要請では「候補地のみならず、県内を揺るがす大きな問題となっている」などと指摘。住民の生活環境や子どもの学びの場に支障を来す恐れもあるとし、計画断念を求めた。

島袋氏はこれまでの「白紙撤回」から踏み込んだ要請内容だと強調。「ゴルフ場跡地の取得をやめ、白紙に戻していただきたい」と訴えた。断念を求めた理由を問われ「地域の合意形成が大前提。しっかりした話し合いもほぼない中、こういった形で反対運動が出ると、受け入れるハードルは高い」と述べた。

自民党県連として南西地域への自衛隊配備計画そのものは「容認する立場」と説明。訓練場整備の必要性に理解を示した上で、現行計画では地元の理解を得られず断念すべきだと訴えた。

県連は2月、来県した木原氏に「取得後の土地利用について、市民との交友の場としての利用も視野に入れた見直しの検討」を申し入れた。その後、県議会で白紙撤回を求める考えを表明していた。＜沖縄タイムス紙より＞

# 有事だよ！全員集合！

3月14日アップされた自衛隊の練馬駐屯地の創設73周年記念イベント案内のポスターです。



◆自衛隊の使命と責任にそぐわない悪ふざけをやらかした

◆国家総動員を思わせる

などと批判が強まり、ネットから消えました。

パレスティナやウクライナなどの戦争拡大と「台湾有事」のキャンペーンに悪乗りした自衛隊の危険なムードが伝わり、笑ってられません。

## 民間空港・港湾の 軍事利用自治体に説明

政府は安保3文書に、自衛隊が空港・港湾を円滑に利用できるよう整備すると明記し、軍事利用を目的に空港・港湾の滑走路や岸壁などを整備する計画を進めています。

9～11月に沖縄や九州、北海道を中心に29の自治体や管理組合を関係省庁の担当者が訪問し、説明していたことが日本共産党の山添拓参院議員の要求で政府が提出した資料から明らかになりました。軍事利用が進めば空港や港湾が逆に攻撃対象となります。

政府は中国などを念頭に、空港や港湾を有事における部隊展開や、平時での訓練に利用しようと狙っています。

訪問しているのは、米中軍事衝突の最前線となる沖縄・先島諸島を優先的に行い、9月29日の宮古島市を皮切りに、石垣市、竹富島や波照間島などがある竹富町、与那国町、うるま市、沖縄市、久米島町、豊見城市、那覇市、浦添市など軒並み。



本土でも九州では熊本、長崎、宮崎、鹿児島、福岡の各県を訪問。北海道では釧路市、留萌市、室蘭市等。さらに高知、香川、福井の各県と広範囲にわたる。

政府側は「民生用としても使いやすくなる」と空港や港湾を軍民両用で活用したいと言いますが、軍事拠点施設が整備されれば逆に相手国から攻撃の的となるのは必定です。ますます危険になることは間違いありません。

### 「九条の会・流山」宣伝と署名

◆4月9日(火) 15:30

おたかの森駅自由通路

~~~~~

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会・流山